


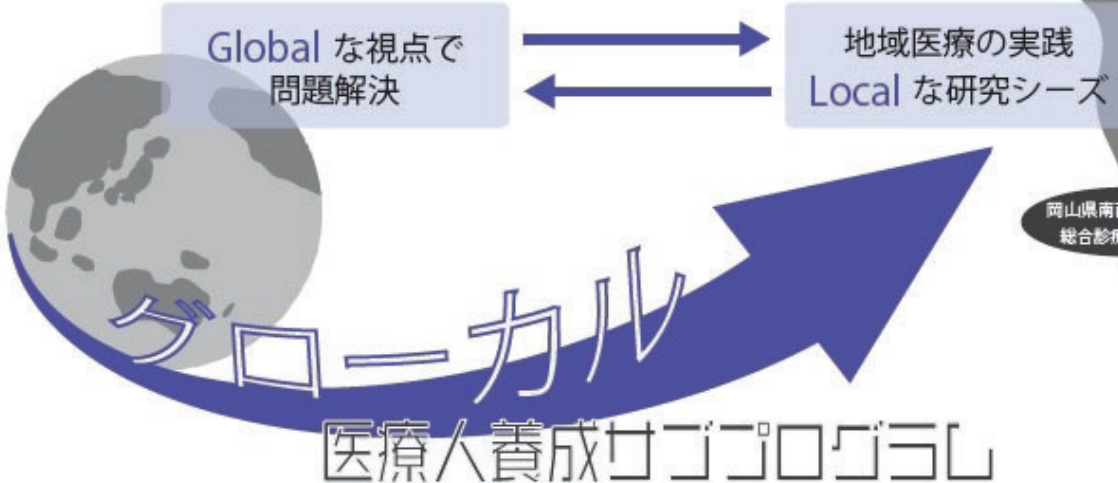


- 医学学位プログラム（選択プログラム） - グローバル医療人養成プログラム

- 
目的 Local な地域医療ニーズに対して専門性を越えた総合的理解・横断的なアプローチで解決する着眼点・方法論を習得し、Global な視点で問題解決に取り組む姿勢を発展させていくための素養を培うことを目的とします。
- 
養成する人材 総合診療学をベースに、感染症学に重点を置きながら、地域医療プラクティカムとしての地域医療学（総合診療学・老年医学・予防医学）、医療教育学（医療人教育・社会医学教育・リカレント教育）、東洋医学、緩和医療、国際診療、ナラティブメディスンなど幅広い分野において、GLOCAL (Global×Local) な姿勢で教育・診療・研究に従事する人材を養成します。
- 
修了後の進路 診断学・治療学・疫学・倫理学・社会学・教育学など横断的・統合的な研究・教育力を持つ博士（医学）/ 教育を实践・追求するための大学教員 / 地域医療に携わる総合診療医 / 研究機関における研究医 / その他専門分野における臨床専門医

特色ある授業科目・教育過程

文科省 GP（未来医療研究人材養成拠点形成事業）として開講したアカデミック GP 養成コア科目（総合診療・臨床推論・高齢者・緩和医療・認知症・東洋医学）を統合科目として、感染症学や、課題解決型プラクティカムを取り入れた地域医療学、医療教育学・予防医学などの横断的・統合的分野について集中的に学びます。



履修モデル：医学学位プログラム - グローカル医療人養成プログラム

学生の経歴：医学部卒・医師国試合格
岡山大学病院で初期研修を予定
Pre-ART制度により学部でウイルス関連論文を出版

動機：小児科志望だが、若いうちは研究を含め様々なことをやってみたい！



学位：博士(医学)
学位論文題目：ゲノム解析に基づく新型SARSコロナウイルスの突然変異とCOVID-19流行パターンについて

修了後の進路：地域医療の小児科'Dr. G'

入学

修了

ARTプログラム 特別入試	1年次		2年次		3年次		4年次	
	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】	【前期】	【後期】
専攻共通科目 (高度レベル アーツ科目)	研究方法論基礎 (2単位)		研究方法論応用 (2単位)		← 学生は、研究指導教員・副指導教員と相談し ← 学修とキャリア形成に必要な講義を選択履修する。		← 学生は、研究指導教員・副指導教員と相談し 学修とキャリア形成に必要な科目を選択履修する。↓	
専攻共通科目 (専門基礎科目)			疫学 (2単位)					
専門科目	GLOCAL 質的研究方法論 (2単位)		GLOCAL 感染症特論 (2単位)		アカデミックGP 養成統合科目 (2単位)			
リサーチワーク	小児医科学実習 (8単位) (主科目:小児医科学)							
	小児医科学演習 (4単位) (主科目:小児医科学)				医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス (2単位) (副科目:病原ウイルス学)			
審査	在学中に病原体ゲノム解析による疫学研究に興味を持ち、病原ウイルス学分野との共同研究を実施。				課題研究 (4単位)	研究基礎力審査		30単位取得
						学位論文 執筆・投稿	予備審査 本審査	

人材養成目標：Localな地域医療ニーズに対して専門性を超えた統合的理解・横断的なアプローチで解決する着眼点・方法論を習得し、Globalな視点で問題解決に取り組む姿勢を発展させていくための素養を培う。総合診療学をベースに、感染症学（感染症治療学・感染制御学・微生物学・分子疫学）に重点を置きながら、地域医療プラクティカムとしての地域医療学（総合診療学・老年医学・予防医学）、医療教育学（医療人教育・社会医学教育・リカレント教育）、東洋医学（漢方診療）、緩和医療、国際診療、ナラティブメディスンなど幅広い分野に対応できる多様な人材を育成する。基礎・臨床研究を問わず、研究手法は量的・質的研究を含む。また、海外留学生の受け入れを含め海外文化と積極的な交流を図ることで、国際的な感覚を身につけた国際医療人の輩出を目指す。

◇ グローカル医療人養成プログラム（コーディネーター 大塚 文男）

ローカルな地域医療ニーズに根ざしつつも、専門性を越えた統合的理解と横断的なアプローチで医療課題を解決する着眼点・方法論を修得し、グローバルな視点で課題解決に取り組む姿勢を自ら発展させていくことができる人材を養成します。修了後の進路として、高度専門職業人たるGeneral Practitioner (GP)を軸に、地域医療に携わる診療研究医、診断学・治療学・疫学・倫理学・社会学・教育学などの横断的・統合的な教育研究能力を有し国際的に活躍する大学教員などを想定しています。感染症分野におけるキャリアパスとしては、臨床感染症専門医、医系技官／保健所長などの保健・行政における専門職業人、高度な知識背景を持つ基礎研究者、WHOなどの国際機関で活躍する人材の輩出を目指します。

授業科目一覧

授業科目	標準 配当 年次	備考（担当教員）	単位数	
			必修	選択 必修
コースワーク				
専攻共通科目（高度レベルアート科目）				
研究方法論基礎	1・2	（学務委員長）	2	
研究方法論応用	1・2	（学務委員長）	2	
専攻共通科目（専門基礎科目）				
医療倫理と法律的・社会的問題	1・2	（神田 秀幸）		0.5
医療対話学（コミュニケーションスキル）	1・2	（大西 勝）		0.5
医療データサイエンス	1・2	（座間味 義人、小山 敏広、濱野 裕章）		2
疫学	1・2	（頼藤 貴志、高尾 総司）		2
専門科目				
アカデミックGP養成統合科目	2・3	（大塚 文男）	2	
GLOCAL感染症特論	2・3	（大塚 文男）		2
GLOCAL質的研究方法論	全	（大塚 文男）		2
脳卒中特論	2・3	（安原 隆雄）		2
心筋梗塞特論	2・3	（中村 一文）		2
メタボリックシンドローム・肥満症特論	2・3	（和田 淳）		2
アンチエイジング特論	2・3	（尾崎 敏文）		2
臨床老年医学特論	2・3	（前田 嘉信）		2
口腔ケア・摂食嚥下機能評価・栄養学特論	2・3	（高柴 正悟）		2
グローバル医学教育実習	全	（受入指導教授）		1*
リサーチワーク（学生の研究活動と受入指導教授による研究・発表指導を単位化した科目）				
医学実習（別表参照）	全	実験・調査・記録・地域医療プラクティカム（課題解決型在外実習）を含む（受入指導教授）	8	
医学演習（別表参照）	全	学内・学外での研究発表（受入指導教授）	4	
医歯薬学プレゼンテーション・プラクティス	全	専攻内共同研究先での研究発表（共同研究先の受入指導教授）		2
課題研究	2・3	研究基礎力審査（学務委員長）	4	
グローバル・プレゼンテーション1	全	国外国際学会での研究発表（受入指導教授）		1**
グローバル・プレゼンテーション2	全	国内国際学会での研究発表（受入指導教授）		1**
修得すべき単位数			22	8

*単位修得に上限は設定せず、繰り返し修得を可とする。修了要件に含む単位としては2単位を上限とする。上限を超える単位については、修了要件外とする。

**単位修得に上限は設定せず、繰り返し修得を可とする。修了要件に含む単位としては2単位（グローバル・プレゼンテーション1又はグローバル・プレゼンテーション2のいずれか一方で2単位も可）を上限とする。上限を超える単位については、修了要件外とする。

授業科目群	授 業 科 目	単 位 数	
		実習	演習
医学実習	細胞組織学	8	4
医学演習	人体構成学	8	4
	脳神経機構学	8	4
	細胞生理学	8	4
	システム生理学	8	4
	生化学	8	4
	分子医化学	8	4
	薬理学	8	4
	病理学（免疫病理）	8	4
	病理学（腫瘍病理）	8	4
	病原細菌学	8	4
	病原ウイルス学	8	4
	疫学・衛生学	8	4
	公衆衛生学	8	4
	免疫学	8	4
	法医学	8	4
	分子腫瘍学	8	4
	腫瘍微小環境学	8	4
	細胞生物学	8	4
	細胞化学	8	4
	組織機能修復学	8	4
	消化器・肝臓内科学	8	4
	血液・腫瘍・呼吸器内科学	8	4
	腎・免疫・内分泌代謝内科学	8	4
	精神神経病態学	8	4
	小児医科学	8	4
	小児医科学(発達神経病態学)	8	4
	消化器外科学	8	4
	呼吸器・乳腺内分泌外科学	8	4
	整形外科学	8	4
	皮膚科学	8	4
	泌尿器病態学	8	4
	眼科学	8	4
	耳鼻咽喉・頭頸部外科学	8	4
	放射線医学	8	4
	産科・婦人科学	8	4
	麻酔・蘇生学	8	4
	脳神経外科学	8	4
	総合内科学	8	4

循環器内科学	8	4
心臓血管外科学	8	4
脳神経内科学	8	4
救命救急・災害医学	8	4
形成再建外科学	8	4
老年医学	8	4
臨床遺伝子医療学	8	4
臨床薬剂学	8	4